



# STRICTLY BUSINESS!! SECRET

DOJIN  
**R18**  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

さびペろんブリック株は  
ホワイト企業です。





だからささ。

この書き方じゃ  
相手は分からない  
んだって。

この文の  
主語どこ？

会議のメモ書きじゃ  
ないんだからさー、  
「誰が」ってのを  
ハッキリ書かないと  
責任の所在が  
宙に浮いちやう訳よ。

あと  
「いつ」「何を」  
とかもね。

それからー

あと：

あ、そうだ。  
最初のさー

私が  
言ってる  
のはねー

ーてえ事で  
やり直し。  
言ってる事  
分かった？

はい：  
宇佐見さん：

その「はい」も  
三回目なんだけどね。

……っ！

まあ良いよ。  
分かんなかったら  
教え上げるから。

キール  
返すし。

はあ

大丈夫？

ハーン：  
さん：

指導員なのに  
ちよつと言いつ  
キツいよね。

あ、いえ  
僕はそんな。

君も間違えようと思って  
間違えた訳じゃないのにな。

そのアホ  
また亦々な会議  
入れやがて。

蓮子ってさ、  
なまじ頭が良いから  
自分が分かる事は  
他の人も当然分かる  
って思ってる  
フシあるの。

会社では  
『宇佐見さん』  
でしょ  
ハーンさん!?

お、怖っ!

いえ、  
宇佐見さんの仰る事も  
尤もですから。

それに：

あ、お昼ね。

気晴らしに  
一緒にランチ  
行きましょ？  
近くにね、  
美味しい洋食屋さん  
見つけたの。  
奢ってあげるから。

えっ!?!  
いや、自分の分は  
自分で。

ねっ？

宇・佐・見・さん？

良いから  
良いから。

とある  
週末

創作居酒屋  
らうにか

カンパ〜イ!!

いや、  
予算審査  
一発で通って  
良かったな。

最後の方はかなり  
残業させちまったけど  
皆よくやった。  
今日は課長の奢りだ!

ゴチに  
ないます!

ウチの会社の飲み会、  
僕みたいなお酒飲めない  
人でも楽しく参加できるから  
良いなあ。

お前もよく  
頑張ったな、  
一年目で!

あ、ありがとう  
ございます……!

足  
くませ!

どうだ?  
毎日宇佐見に  
シゴかれて  
しんどかったろ?

ちよ:  
課長!

コイツ仕事は  
出来るんだけどな。  
自分が分かる事は当然  
周りも分かるって  
思ってたすトコあって  
玉にキズなんだよ。

あ、もう  
言わないで  
下さいよ!

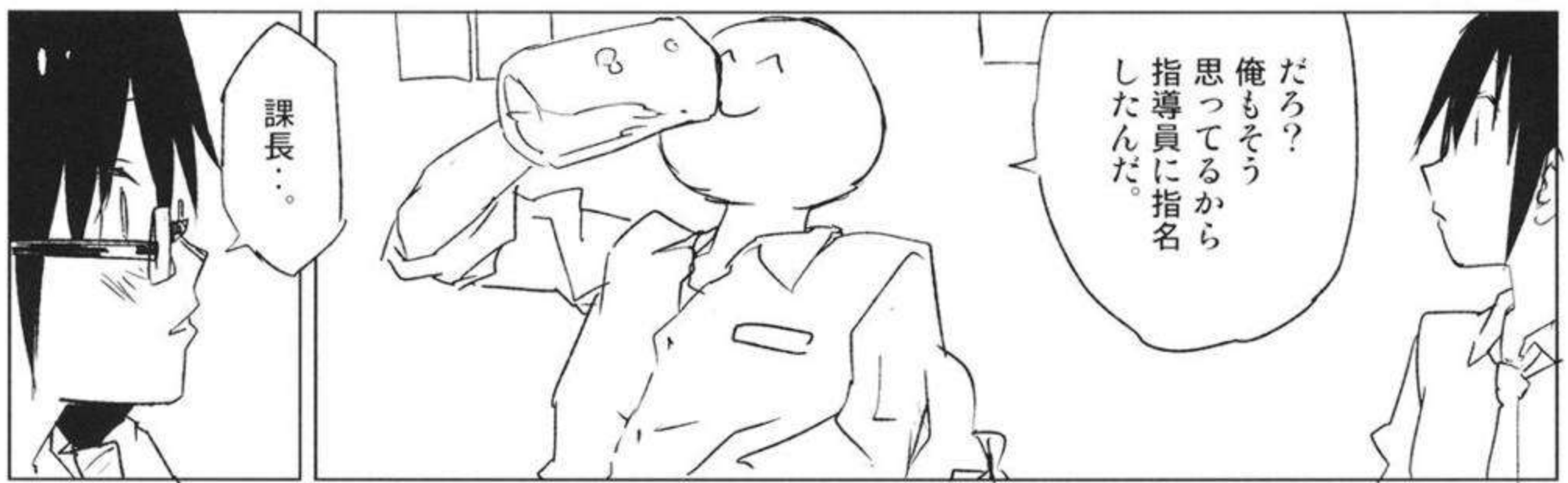


宇佐見さんは

厳しいですけど  
分からない所は  
丁寧に教えてくれますし、  
出来た時は凄く  
褒めてくれるんです。

最初は怖かったですけど  
嫌だなんて感じはしなくて…

今は凄く尊敬できる  
先輩です！



だろ？  
俺もそう  
思ってるから  
指導員に指名  
したんだ。

課長…



お前  
言ってる事  
やってる事は  
概ね正しいん  
だからよ！  
もうちよつと  
口の悪さ治せ  
口の悪さ!!

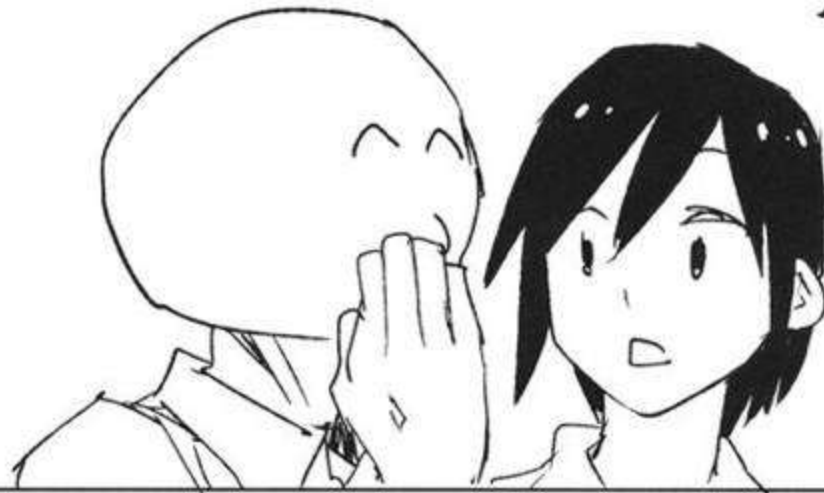
はっはっは

あっ！  
もう何か  
良い雰囲気  
だったのに…

分かりました!!  
今後は注意  
しますう〜!!



果長さん！  
何話ですか！



お前知らん  
だろうけどな。  
お前のいない所じゃ  
宇佐見の奴、  
すっげー期待してる  
風な事言ってるんだぜ？



僕

早く一人前  
になれる様に  
頑張ります！

これからも  
宜しく  
お願いします！！



う、  
宇佐見さん！

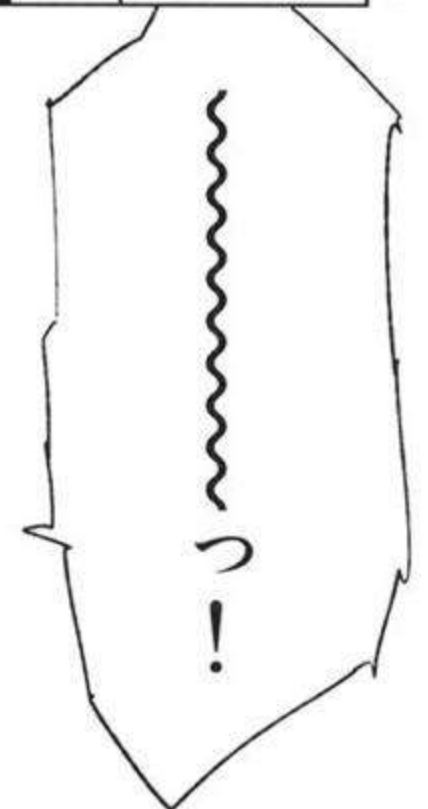


：ま、まあしつかり  
付いて来なさい。  
覚えて貰いたい事は  
山程あるんだから！

あ、蓮子  
照れてる  
照れてる！

だーから  
名前は…！

今は勤務外  
だもんね〜♪







あゝ  
潰れちゃったよ  
コイツ...

誰?  
コイツに  
こんななるまで  
飲ませたの。

酒はよく飲む奴だけと  
ここまでなるのを  
見るのは初めてだな。

いやゝ  
勝手に飲んでた  
だけツスよ。



でも一人じゃ  
キツイよな。

そくですねえ...

ま、良い時間だし  
ぼちぼち  
お開きにするか。  
コイツ  
帰さねえと:  
家知ってんの  
メリーちゃん  
だけなんだよねえ。

はい、  
私送りますよ。



えっ?



じゃ  
君!  
手伝って貰って  
良い?



いえ、  
全然…

ごめんね、  
もう少しだから。



あくあく  
相変わらずねえ。

わっ…!

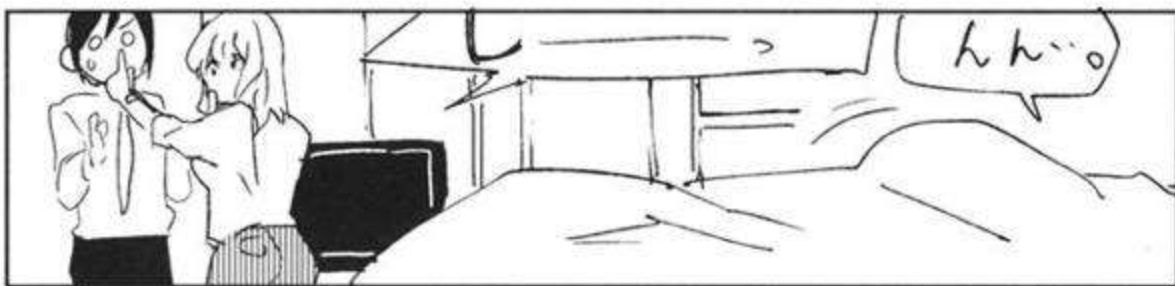
ヤッ



そう言えば  
二人は  
大学からの  
付き合ってたな…

驚いた？  
散らかってる  
でしょ。  
大学の頃から  
こんななのよ、  
実は。







見せ付けて  
やりたい——みたいな♡

寝てるけど。

なるんか  
悔しくてさ〜

よ〜

ん？



アハハッ  
なるんだ。  
すっかり  
ガチガチ  
じゃない♡

ええ!?  
えーこれは...

うんうん。  
『不可抗力』

よね?

...

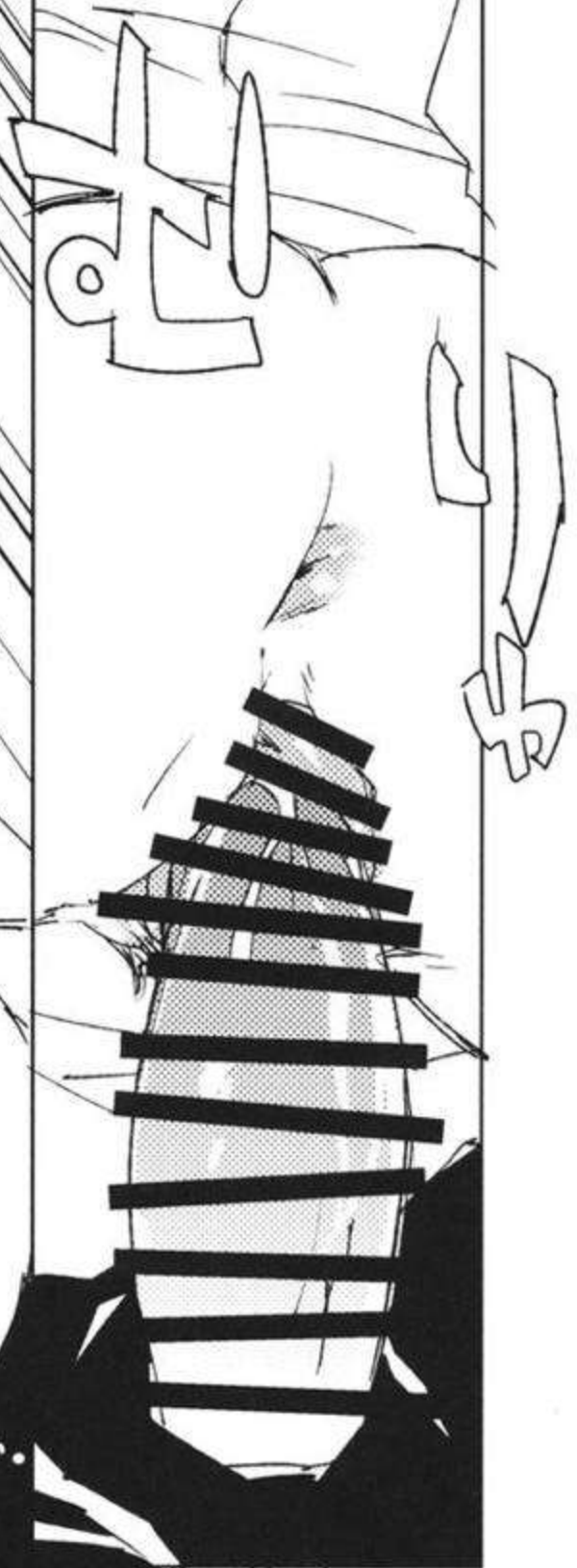


私が全部  
やったげるね♡

これは  
お礼だからー







んぐ...!!

相変わらずの...!!

いつ：  
かったあい♡

ちよ：  
メリーさん  
声...!!





や・もう  
気持ち良...

うぐっ!

はま...♡

もお  
大丈夫だって♡  
君も気持ち良く  
なって♡



あつダメ...  
私の方が  
先に...!



ウツ...  
いや、僕も  
もう...!

外に出して  
後で蓮子に  
痕跡見付かったら  
どうするの?

それは  
別に...  
あつちよ...!

ふふ...  
中に出して  
良いよ♡

えっ!?



はあ：  
何か私の方が  
気持ち良くな  
っちゃった♡

いや、  
大丈夫です。  
気持ち良か  
ったです…。

ありがとう♡

じゃ服直して  
お暇いとましよっか！



すみません  
宇佐見さん！  
コレは…！

しっ！  
私が話す  
から！

蓮子ごめんね！  
実は彼と  
そーゆー関係なんだけど…

あーでも大学の時も  
偶にやったじゃない？  
私の部屋で蓮子が彼氏とさ…



アンタ達…

人ン家で  
ナニしてんの…？



ごめんね

私とも  
やってよ。



はい!?  
ええとつと  
それは  
流石に...



あっ!?

人ン家で  
よろしくやっといて  
家主の頼みが聞けない  
っつの!?



まして  
指導員の私の  
言う事が!?



ねえ!  
良いよね  
メリー?





こはあ♥

そこそこお♥  
気持ち良いよ〜♥

なかなか  
やるじゃん。  
メリーに  
仕込まれた？

はい…  
あ、えっ!?

メリーも  
スミに置けないなあ〜。  
今まで私に内緒で  
コイツのちんこ  
味わってたんだあ♥



何か  
とんでもない  
事に…。

くっ…!!  
とは言え…  
宇佐見さんの中  
凄く…!!



メリーさんは  
最早楽しんでるし…。

悔しいとか  
言ってたのに…。

わー♥  
これが  
ZORONZORONZORON

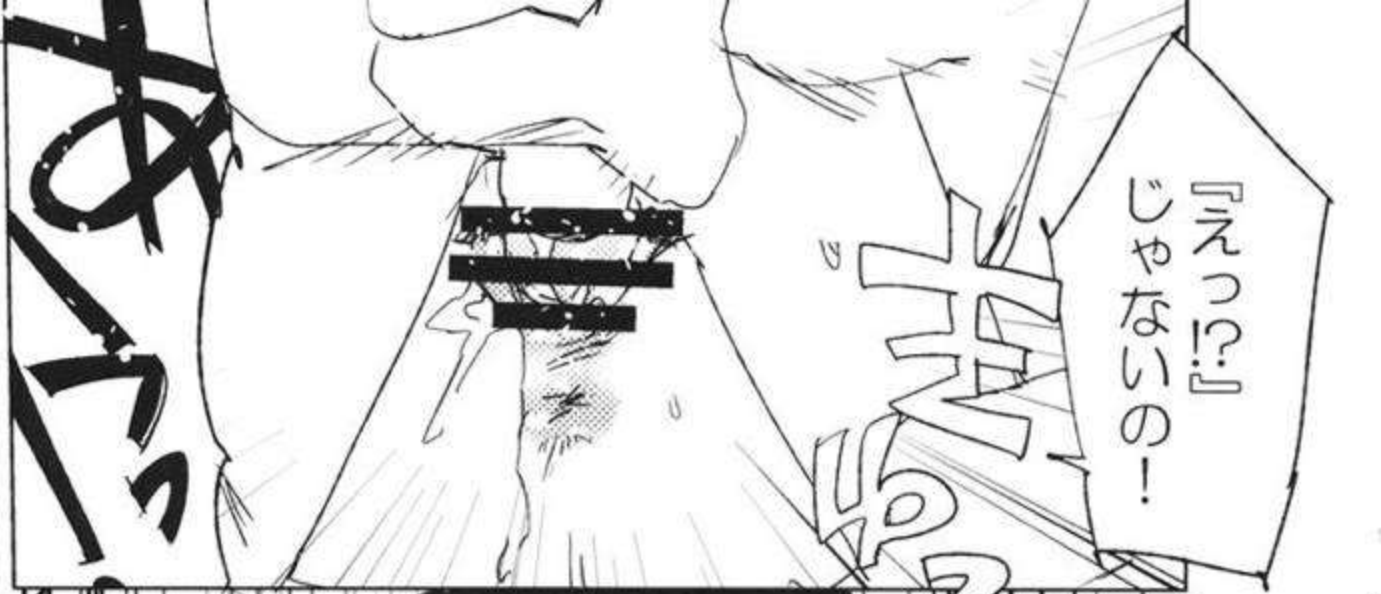


すみません宇佐見さん…  
ちよつと僕そろそろ…。

良いよ。  
中に出さない♥

えっ!?  
それは…!

『そっか!』  
じゃないのー!



あ、  
終わった〜?

はい…



宇佐見さん:  
この事は…



え…

寝…る…



まナガ…

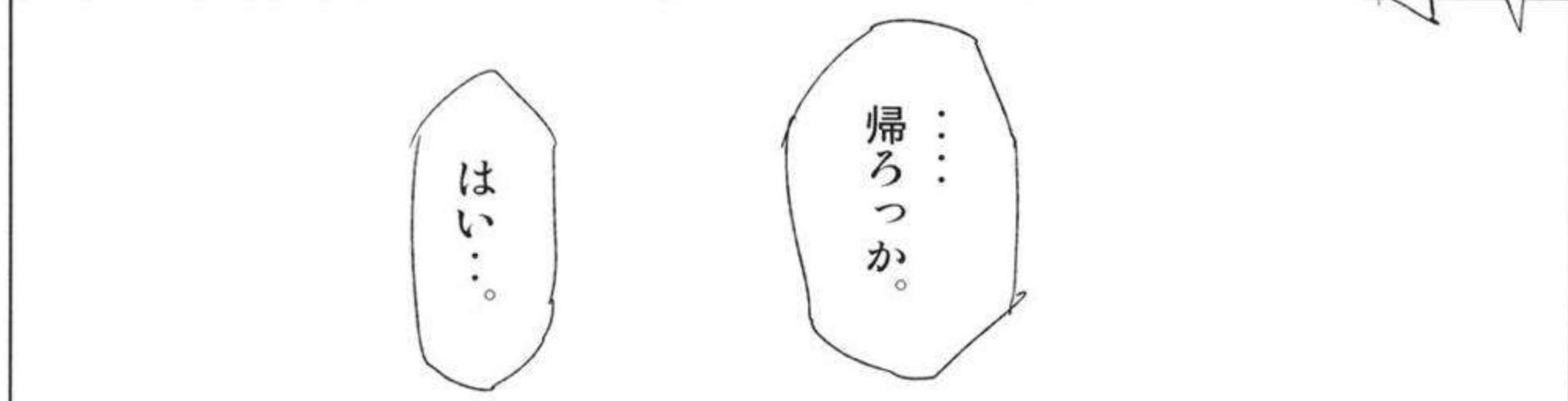
ま  
だん  
か  
ま  
い

今の全部  
寝惚けて…



…  
帰ろっか。

はい…



月曜日

おはよう…。

おはよう…  
ごめんです…。

うん…。

あ、あのさ…

金曜日：私  
酔い潰れ  
ちゃって…。

メリ：  
ハーンさんと  
二人で  
送ってくれた  
って…。

はい…。

そう…。

あ、  
ありがとう。  
ごめんね。

いえ…。

でき、  
一つ  
訊きたい  
んだけど…。

そんな  
私あんたに  
ナニかした  
…？

恥ずかしい  
話んだけど  
何か全然  
記憶なくてさ…。

…い、いえ…  
もうぐっすり  
眠られてたので  
そのまま  
ハーンさんと  
帰りました…。

あ…そう…なの？

あ、だったら  
良いの、うん。

まあ…  
今日もその、頑張ろう…。

はい…。

それから  
宇佐見さんは  
言動が少し  
優しくなった！

おわり

何故ヘイシャにはゆるふわメリーちゃん先輩がいないのでしょうか。





ほ？



奥付

『STRICTLY BUSINESS!! SECRET』  
 発行:さべろんブラック  
 発行者:さべ  
 連絡先:sakura\_twintail@hotmail.co.jp  
 原作:上海アリス幻楽団様  
 初版発行:2018年10月21日『東方紅樓夢(第14回)』  
 印刷:株式会社 栄光  
 ※当作品の無断での複製・加工・転載を禁じます。

せぺろん  
ブラック